

稲わらから学ぶ先人の知識

12月27日（水）社会福祉協議会では、鶴遊館で行っている学童保育の子どもたちを対象に、「わら細工教室」を開催しました。

わら細工作りを通して、先人の知識を学んでもらいたいという目的で、小学校3年生以下の子どもたち32人が集まり、妙堂崎地区住民6人の指導の下「わら打ち」や「縄なり」などの体験をしました。

この日参加したパークレイ沙里椰さん（鶴田小1年）は「難しかったけど、楽しかった。上手にできたのでまたやってみたい」と笑顔で話してくれました。子どもたちは、先生が作ってくれた髪飾りやネックレス、ブレスレットを身につけ大喜び。同教室は年3回のペースで今後も行う予定だそうです。



△縄なりに初挑戦、上手にできたかな？



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを
役場企画課広報国際係までどしどしお知らせ
ください。（☎22-2111 内線264）

新春の大空に羽ばたく鶴鳳

お正月の風物詩である、鶴鳳の会主催の新春鶴鳳揚げ大会が1月2日（火）午後2時から、鶴寿橋上流河川敷で開催され約20人が参加しました。

この日の天気はあいにくの曇り空でしたが、強い風が吹きつける風揚げには絶好のコンディション。会員たちは自慢の鶴鳳を風に任せ、飛ばし方の優雅さを競い合いました。

今大会の最高賞である「鶴がよく舞ったで賞」は松川和子さん（公園通り）が受賞。

最後には参加者と関係者で、女性会員手作りのおいしい豚汁を頂き、寒空の下で冷えきった体を温めました。



△大空に飛び立とうとしている鶴鳳、遠目に見ると本物そっくり

今日から大人の仲間入り

1月3日（水）、県内で一番乗りの成人式が公民館で行われ、新成人151人が出席し大人としての第一歩を踏み出しました。

成人式は2部に分かれており、式典は町が主催し、成人のつどいは、新成人で組織された実行委員会10人（男6人、女4人）が、企画から司会進行まですべてを務めました。

司会を務めた小野千秋さん（弘前大2年）は「会場作りや袋詰めを少ない実行委員で行ったのでとても大変でした。でもいい成人式ができたので良かったです」とほっとした表情で語ってくれました。会場内は旧友との再会に喜ぶ成人たちで大変賑わっていました。



△それぞれのこれからの夢や目標に向かって乾杯！



△笹谷さんの技術指導に熱心に耳を傾ける参加者たち

リンゴせん定技術を高める

1月4日（木）、毎年恒例の「新春せん定会」が、役場に隣接している宮本良一さんの園地で行われ約150人のリンゴ栽培農家がせん定技術を学びました。

講師として指導に当たった笹谷 哲^{さとし}さん（弘前市）は、昨年4月にリンゴ栽培に優れた功績を上げた県内の生産者に贈られる「渋川伝次郎賞」を受賞。笹谷さんは「リンゴはせん定から始まり、せん定に終わる。出来秋を喜んで迎えられようがんばりましょう」とあいさつを述べました。参加者は笹谷さんの一言一言に熱心に耳を傾け、真剣なまなざしでせん定作業に見入っていました。

火災ゼロを目指し分列行進

1月7日（日）、体育センターで出初め式が行われ、消防団、婦人防火クラブ、消防署員、来賓者を含む約350人が、防災対策の推進を誓いました。

式典では、無火災の4分団の表彰と12人の団員の表彰が行われ、式辞で中野町長は「火災ゼロを目標に下山消防団長の下、住民に対しての火災予防の呼び掛けを頑張ってもらいたい」と激励しました。

昨年当町での火災発生件数は2件でしたが、今年は消防団と共に町民一人ひとりが火災予防に注意し、火災の無い安心に暮らせる町を目指していきましょう。



△雨降りのこの日は、体育センターで分列行進が行われました